



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 27 年 8 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



ヒラメ放流※写真の説明は P 8 下段参照

第 4 1 号の内容

- 6 月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・ P 2－4
- 7 月会議・・・・・・・・・・ P 4
- 特別委員会分科会・・・・・・・・・・ P 5
- 6 月定例会議の議案質疑・・・・・・・・・・ P 6
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・ P 7
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・ P 8

第41号

いっぱん質問

6月定例会議の一般質問



榑原安弘 議員

問 管理不十分な空き家状況は

平成25年12月に空き家等の適正管理に関する条例が制定されたが、その後管理不十分な空き家対策はどうか。

答 町内会等と連携しながら対策を進めたい

町長 管理不十分な空き家は42件で、区長や町内会長から情報提供があり実態調査の結果、所有者等へ草木の伐採、修繕あるいは、解体などの改善指導、勧告を行っている。改善指導の結果昨年度で4戸、今年度で1戸の解体除去がなされ一定の効果を上げています。今後についても町内会等と連携しながら対策を進めてい

きたい。

問 合併から10年を経過したが今後の方策

去る3月1日に合併してから10周年を迎えたが、この期間を振り返っての思いと、これからの町づくり方策はどのように考えるか。

答 特に5項目の骨格を重点として進めていく

町長 これまでの10年間は財政状況の悪化もあり、財政再建に取り組み、行政サービスの均一化や旧町村の融和対策と災害に強い町づくりに取り組んできた。今後は特に次の5点を骨格として進めていきたい。

- ①人口減少問題
- ②第1次産業の活性化と6次産業の推進
- ③子供から高齢者への細やかなサービスの提供
- ④将来の子供たちの教育環境づくり
- ⑤災害に強いまちづくり

以上の項目によって未来への夢と希望につながるような町になるよう取り組んでいきたい。

問 北陸新幹線開業効果

3月14日の北陸新幹線の開業後、初のゴールデンウィークの期間中の県内は、全域で昨年を上回る人手となったようだが、当町の状況はどうか。

答 宿泊施設は5%増で観光施設は2%増

町長 公共の宿泊施設では13%増で民間は4%減となった。また観光施設では2%増となった。開業してから3ヶ月経過したなかで石川県への入込み客は大きく増加しているがこれまでのところ金沢市中心という状況で推移している。金沢の観光が一段落すれば加賀や能登方面に観光客が流れてくることを期待したい。



問 新たな教育委員会制度は

今年の4月1日に、地方教育行政関係の法改正があり、教育委員長と教育長を一本化することや首長を交えた総合教育会議が設置されたと聞くがその概要は。

答 教育行政の責任体制の明確化を図った

教育長 4月27日に新教育長に任命されました。教育行政を担う立場として気持ちを新たにしているところです。

新たな制度は教育行政の責任体制の明確化や審議の活性化、迅速な危機管理体制の構築などを挙げ、町長と教育委員会との協議、調整を行う場として総合教育会議が設置されております。町民憲章や総合計画との整合性を図り、子供や若者を初めとするすべての町民が元気で笑顔と幸せがふれ、愛着の持てる町づくりに向けた教育振興基本計画を策定しました。



田端雄市 議員

問 役場庁舎の建設について問う

庁舎の基本構想策定委員会をスタートさせるに
ついての町長の考えは。

答 庁舎建設が最善と考える

町長 本庁・支所検討委員会は、財源の観点から建設を見送る。また、議会の特別委員会では、合併特例債を財源として、建設せよとの報告であった。財源については確保できる見通しとなり、庁舎の経過年数が43年になると、津波浸水区域に位置していることから建設が最善と考えている。

問 資金は町民のために使うが大前提では

合併特例債を主な財源にすると、町民に対する政策事業費に従来のまま回せなくなる。資金は町民のために使うが大前提、しっかり踏まえて欲しい。また、策定委員会の結論に対し、民意を諮る場面はあるのか。

答 財政健全化に留意し町民から意見も

町長 財政の健全化に留意し、実質公債費比率を十年後においても、現在の水準以下に目標を置いて努力したい。委員会の結論については、パブリックコメントとして、広く町民から意見等もいただきたい。

問 町内コミュニティバスの導入を

町にとって、人口構成の半分近くを占める65才以上の高齢者に対して、どのような施策を行うかは大事な論点である。この方々が自らの意思で行動し、その中で喜びを見出していく、社会参加ができるインフラ整備として、コミュニティバス（注1）の導入を提案したい。この交通システムにより今以上に地域間交流が活発になることを期待したい。

答 検討を加えて行きたい

町長 循環コミュニティバスの運行の趣旨は理解できるが、既存路線バスとの重複区間が多いこと、法的規制、費用対効果など、難しいものが多々ある。今後とも路線の見直しや運行方法など協議するなかで、検討を加えていきたい。



市濱等 議員

問 大気汚染、伝染病等住民周知体制は充分か

PM2.5、PM10（注2）大気汚染、伝染病MARS、エボラ熱、放射線等、環境、保健衛生上の計測状況は、また町民への周知伝達体制は整っているか。観測計測は町独自の整備も必要ではないか。

答 県、町の関係各課連携し迅速正確に伝達する

町長 PM2.5については県は平成22年度から10の地点で観測を開始し、PM10は22ヶ所、放射線については県内30地点の測定局が設置されている。町で一番近いところは奥能登行政センターに

設置されている。町は今後も県の方策に従い町民の安全を確保したい。

問 ごみ対策、RDF事業、今後の方針は

クリーン組合が進めている、RDF事業、RDFを買い取る北部センターが休止するような話がある。新聞紙上では他市町で焼却施設建設が取り沙汰されている。焼却費用の3倍も経費が必要だといわれているRDF事業、今後町の方針は。

答 8年後を見据えた協議をこれから始める

町長 当初契約が15年間平成29年で修了する予定だが、今すぐ止めるのには無理があるので5年間延長された。今後8年間をかけて協議したい。5年間の延長に対する事業費も詰めていない。何も決まってない。

（注1）

【コミュニティバスとは】

自治体がまちづくりなど住民福祉の向上を図るために交通空白地域・不便地域の解消、高齢者等の外出促進、公共施設の利用促進を通じた「まち」の活性化等を目的として、自らが主体的に運行を確保するバスのこと。

（注2）

【PM2.5とPM10】

PM（粒子状物質）2.5と2.10は、どちらも燃焼による塵、飛散した土壌、工場などで生じる粉塵、車の排気ガス、花粉の抗原、黄砂など、有害とされる物質を大気汚染物質として扱う際に用いられる呼称。

PM2.5は髪の毛の太さの約30分の1と非常に小さく軽量で直径が小さいため、肺の奥まで到達できるというきわめて厄介な特性をもつ。PM10は、比較的直径が大きく肺の奥の狭い場所にひっかかりたり、割り込んだりする。



南正晴 議員

問 運転免許証返納者への対応を問う

運転免許を返納された方の人数及びそれに対する特典はどのようなものになっているのか。

共通商品券1万円分を公共交通の利用券等に変えることはできないか。

答 タクシーは利用可能。路線バスは協議が必要

町長 平成26年度の返納件数は50件。今年度は6月5日現在で10件の申し込みがある。支援内容は2つあり、住民基本台帳カード交付手数料の免除と能登町共通商品券1万円を配布している。

乗合タクシーの事業者には商品券が使え、理

解していただきたい。路線バス利用に関しては協議が必要だと思っている。

問 町の花・木・鳥・魚をPRして地域起こしを

やませみの生息数や生息地は把握しているのか。飼育をして公開は可能か。

もちの木は町内に何本あり大きさ等についても把握しているのか。

キリシマのきれいな時期を利用して、スタンプラリーを実施すればどうか。またミスキリシマを募集して、町のPRに努めてもらえないか。

答 関係機関へ要望検討を

町長 ヤマセミに関しては町県ともに把握はしていない。飼育も認可が困難である。

もちの木については町の天然記念物に4本が指定されている。その他にも巨樹名木が町にあるのは把握している。

スタンプラリーについては、奥能登ウエルカム

プロジェクト協議会へ要望していききたい。ミスキリシマはミスがよいのかキャンペーンレディの形式がよいか応募範囲等につき検討したい。

【町の花木鳥魚】

のときりしま



もちの木



ヤマセミ



鰯

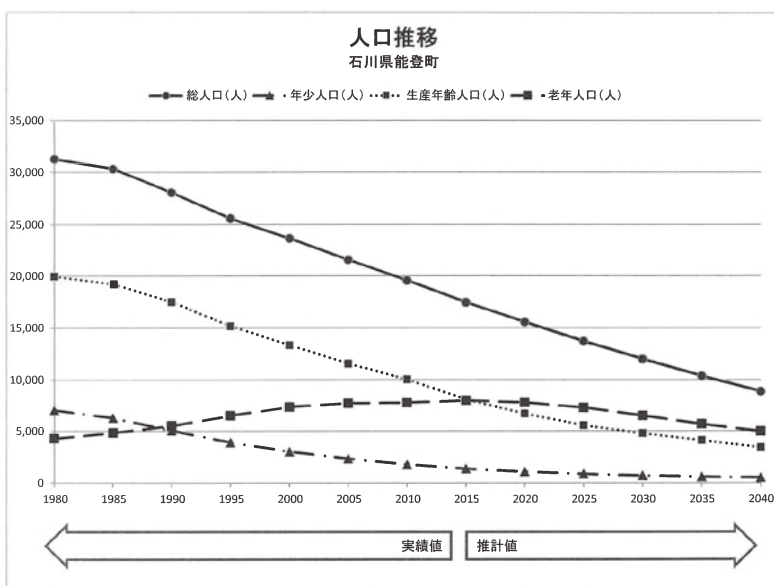


**第3回
能登町議会
7月会議**

平成27年7月13日に第3回能登町議会7月会議が開かれました。可決された議案2件は次のとおり。

■議案第58号 平成27年度能登町一般会計補正予算(第2号)

■議案第59号 請負契約の締結について(平成27年度学校施設環境改善交付金事業 能登町立柳田小学校(屋内運動場)防災機能強化工事(建築))



※人口推移(特別委員会参考資料)

<年少人口>

0才～14才

<生産年齢人口>

15才～64才

<老年人口>

65才以上

(出典)

RESASー地域経済分析システムより数値データをダウンロードにより作成。

提供：内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)及び経済産業省



写真（平成 27 年 7 月 8 日 能登町役場 5 階委員会室
午前 10 時～ひと分科会）

【ひと分科会所管】 調査及び提案事項

- ・まちへの新しいひとの流れをつくること。
- ・若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえること。

【しごと分科会所管】 調査及び提案事項

- ・まちにおける安定した雇用を創出すること。
- ・時代にあった地域づくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携すること。

「ひと分科会委員」

委員長 南 正晴

副委員長 酒元 法子

委員 田端 雄市

國盛 孝昭

椿原 安弘

奥成壮三郎

宮田 勝三

まち・ひと・しごと創生特別委員会分科会

地方創生について講ずべき施策を積極的に調査、提案することを目的として、3 月定例会議で設置した「まち・ひと・しごと創生特別委員会」は、5 月 1 日に第 1 回委員会を開催し、7 人ずつの 2 つの分科会に分かれ調査、検討することとした。

両分科会は 7 月 8 日の午前と午後に分かれ初の分科会を開催し、企画財政課内の地域戦略推進室職員から本町の人口動態、就業実態などの分析結果や、将来人口の推計などについて説明を受けた。

その後、少子高齢化施策の検証や、産業別就業構造の実態の調査など今後の活動方針を協議した。



写真（平成 27 年 7 月 8 日 能登町役場 5 階委員会室
午後 1 時 30 分～しごと分科会）

「しごと分科会委員」

委員長 市濱 等

副委員長 小路 政敏

委員 金七祐太郎

河田 信彰

向峠 茂人

鍛冶谷眞一

久田 良平



議案をチェック

6月定例会議の議案質疑

平成27年6月定例会議の議案質疑ということ、3名の議員が様々な角度から質した。

主な質疑、答弁は次のとおり。

問 椿原安弘 議員

平成26年度の一般会計、企業会計の決算見込み額を問う。

答 会計管理者

平成26年度の一般会計の決算見込につきましては、歳入見込み150億7100万円に対し、歳出見込額は、147億5900万円となり差引き3億1200万円の黒字見込みである。

答 上下水道課長

収益的収支では、収入

で、使用料など合計5億1

566万8000円。支出

で、営業費用など合計

5億3388万1000

円。収支では1821万

3000円の赤字。資本

的収支では収入で補助金

など合計2億2813万

6000円。支出で建設

改良費など3億8729

万4000円。収支の不

足額1億5915万80

00円で、損益勘定留保

資金及び減価積立金など

で補填を行った。

問 公立宇出津総合病院

事務局長

平成26年度病院事業会計の決算については、新しい公営企業会計基準での2年目となった。事業全体の収支である純損益は、1億8466万60

00円の黒字見込である。

問 向峠茂人 議員

観光振興宿泊補助金及び外国人旅行者受入環境整備事業について説明せよ。

答 ふるさと振興課長

観光宿泊の補助金300万円は、ふるさと納税をいただいた方に寄付金受領証明書とともに能登町優待カードをお送りし、能登町内の宿泊施設をご利用いただいた場合、平日に限り1泊3000円を優待するものである。

答 外国人旅行者受入環境

整備事業は、能登町内の宿泊施設や観光施設の事業者に対して補助するもので、外国語表記やカード決済の導入など外国人

が利用しやすい環境を整えるというものである。負担割合は、事業者、町、県各3分の1の負担である。

問 市濱等 議員

再生エネルギー導入事業について説明せよ。

答 環境対策課長

環境衛生費に計上しているもので環境保全対策の二酸化炭素を削減する目的として事業を推進するもので、所管は、総務課の危機管理室である。今年度は、LED避難誘導灯を鶴川地区から松波地区の海岸沿いの避難路10路線を整備。1基当たり150万円の26基を計上するものである。

問 総務課長

環境省の事業ということで再生可能エネルギー導入基金のグリーンニューデール基金事業である。石川県が26年度から導入する3年間の事

業であり、今回の補正は街灯道路灯で、その再生可能エネルギーに付帯する蓄電池設備を利用するものである。能登町には、避難路が20路線あり今年度は、10路線3900万円、28年度3400万円。合計7300万円で50基を整備したい。

「議会議案」

6月議会定例会議における議員提出議案

● 発議第2号

教育予算の拡充を求める意見書の提出について

以上1件を議会議案として、6月17日に追加提出し原案のとおり可決され、各関係機関に提出した。



総務産業 建設委員会

國盛孝昭（委員長）
椿原安弘（副委員長）

田端雄市・市濱等

酒元法子・河田信彰

宮田勝三

12月議会くらいまでまとめたい。

●消防の体制について、説明せよ。

6月10日に委員会を開催し議案4件、請願1件を審議。全会一致で可決・採択すべきものと決定した。

●審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●一般会計補正予算

●問 新庁舎建設の委員会は、どのような考えになるのか。

●答 7から10名程度の委員会で、議会から4名程度、あとは一般公募か有識者、町からは副町長を予定している。会議の回数は5回から7回程度で、

ある。LEDの設置場所付近にも注意を払いたい。

●請願第1号「柳田天坂バス停付近の公設駐車場及び防犯カメラの設置について」を採択。

なお、審査中「公設駐車場のみを一部採択すべき」との意見があった。

教育民生 委員会

金七祐太郎（委員長）

小路政敏（副委員長）

南 正晴・向峠茂人

奥成壮三郎・鍛冶谷眞一

久田良平

●環境衛生費

●問 工事請負費3900万円計上されているが内容は。また来年度も継続か。

6月10日に委員会を開催し付託された議案1件、請願1件を審議。全会一致で可決・採択すべきものと決定した。審議後、管内視察を実施した。審議過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●問 環境保全を図るべき事業で、今年度は、鶴川地区から松波地区までの避難路にLED避難誘導灯を設置する。来年度も実施する予定である。

●請願第2号「国の教育予算を拡充することについて」を採択。

●児童福祉施設費

●問 こどもみらいセンター管理運営費の工事請負費で432万円計上されているが、年間の利用数は。

●答 25年度の年間利用者数は、延べ10424人。

●管内視察

○柳田星の観察館「満天星」

○柳能登牧場

○縄文真脇ドブネ收藏庫

○藤波運動公園テニス資料館



4月から6月の主な議会活動

- 4月14日 石川県町村議会議長会定期総会・功労者表彰式
4月21日 広報編集特別委員会
4月29日 のと鉄道観光列車「のと里山里海号」出発式
※各学校入学式
5月1日 議会運営委員会
まち・ひと・しごと創生特別委員会
5月17日 第66回全国植樹祭（小松市木場湯公園）
5月19日 総務産業建設常任委員会
5月22日 のと里山海道期成同盟会総会
能越自動車道能登区間建設促進協議会総会
5月26日 町村議会議長・副議長研修（東京都27日まで）
5月28日 議会運営委員会
5月29日 奥能登広域圏事務組合議会議員協議会・臨時会
奥能登クリーン組合議会臨時会
※各町団体総会等
6月1日 能登地区町議会連絡会
石川県議長会臨時総会
6月4日 全員協議会
6月8日 議会定例会議（議案上程）
6月9日 のと里山空港利用促進議員連盟理事会・総会
6月10日 常任委員会
6月15日 議会定例会議（一般質問）
6月17日 議会定例会議（採決）
全員協議会 議会運営委員会
6月30日 能登地区町議会連絡会

次の定例会議は9月です

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。
ぜひ傍聴にお越しください。議場が3月より能都庁舎に変わっております。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

今年は、例年になく猛暑が続いています。熱中症対策のため水分補給を心がけたいところですね。

通年議会が施行され、議員の方々は頻繁に招集されることも想定されます。その機能が十分に発揮されるようになれば、町民の皆さんと議会が更に身近に感じられるのではないかと思います。この議会だよりを読んで、議会の傍聴に行きたくなったと感じられたら幸いです。

委員 小路 政敏

広報編集 特別委員会

委員長 田端 雄市
副委員長 金七祐太郎
委員 小路 政敏
酒元 法子
椿原 安弘
南 正晴